



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場会社名 ハリマ共和物産株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7444 URL http://www.harimakb.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津田 信也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役マネジメントサポート本部長 (氏名) 三輪 正俊 TEL 079-253-5217
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	26,780	8.0	1,007	△0.3	1,097	1.6	729	1.8
2019年3月期第2四半期	24,788	2.9	1,010	△15.0	1,080	△14.8	717	△9.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 701百万円 (△1.9%) 2019年3月期第2四半期 715百万円 (△11.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	135.82	—
2019年3月期第2四半期	133.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	25,665	17,987	70.0
2019年3月期	24,817	17,489	70.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 17,977百万円 2019年3月期 17,482百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	38.00	38.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	1.6	1,620	0.7	1,750	0.7	1,215	1.3	226.08

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2 Q	5,441,568株	2019年3月期	5,441,568株
② 期末自己株式数	2020年3月期2 Q	67,269株	2019年3月期	67,269株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2 Q	5,374,299株	2019年3月期2 Q	5,372,888株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外の貿易摩擦や中国の景気後退などによる景気の減速懸念から不透明感は依然残るものの、雇用や所得の拡大は継続しており、緩やかながら回復基調を維持しております。

一方で当流通業界におきましては、人件費や物流コストの上昇を背景に、企業の収益環境が悪化する中で、業種・業態を越えた企業間の競争も激しく、厳しい環境が継続しております。また本年10月の消費税増税による消費マインドの冷え込みも懸念されることから、先行きも楽観できない状況となっています。

こうした状況下において、当社グループは卸売業の保有する商流・物流・商品開発・情報・金融など様々な機能を活かし、時代とともに変化する卸売業への要請に応えるべく、全社一丸となって取り組んでまいりました。中でも商流・物流のネットワークにおいては、取引先の要望にスピーディに対応できる体制を整えるとともに、商流・物流一体となった総合的な流通サービスの提案を推し進めてまいりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は主要顧客への販売が堅調であったことから、26,780百万円(前年同期比8.0%増)となりました。利益面は、売上高増加に伴う売上総利益の拡大はあったものの、人件費や運送費などの経費の増加もあり、営業利益は1,007百万円(前年同期比0.3%減)、経常利益は1,097百万円(前年同期比1.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は729百万円(前年同期比1.8%増)と、前年同期比でほぼ横ばいとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、25,665百万円(前連結会計年度末比848百万円増加)となりました。流動資産につきましては、13,999百万円(前連結会計年度末比493百万円増加)となりました。主な増減の要因としましては、受取手形及び売掛金が339百万円、現金及び預金が223百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産につきましては、11,666百万円(前連結会計年度末比354百万円増加)となりました。主な増減の要因としましては、有形固定資産が260百万円、投資その他の資産が107百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、7,678百万円(前連結会計年度末比350百万円増加)となりました。流動負債につきましては、6,623百万円(前連結会計年度末比345百万円増加)となりました。主な増減の要因としましては、短期借入金が290百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が636百万円増加したことによるものであります。固定負債につきましては、1,055百万円(前連結会計年度末比5百万円増加)となりました。これは主に役員退職慰労引当金が8百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、17,987百万円(前連結会計年度末比497百万円増加)となりました。主な増減の要因としましては、利益剰余金が525百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は2,577百万円となり、前連結会計年度末と比較して223百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,386百万円(前年同期比61.4%増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,097百万円、仕入債務の増加額636百万円、減価償却費260百万円及び売上債権の増加額372百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は604百万円(前年同期比190.2%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出514百万円、差入保証金の差入による支出131百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は558百万円(前年同期は81百万円の獲得)となりました。これは主に、短期借入金の純減少による支出290百万円、配当金の支払額205百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、2019年5月14日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,514,507	2,737,668
受取手形及び売掛金	7,752,478	8,091,675
電子記録債権	906,875	940,553
商品	1,725,221	1,720,416
その他	607,224	509,247
貸倒引当金	△9	△10
流動資産合計	13,506,298	13,999,552
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,896,578	2,882,605
土地	4,304,789	4,304,789
その他(純額)	1,303,361	1,577,826
有形固定資産合計	8,504,729	8,765,221
無形固定資産	107,046	94,288
投資その他の資産	2,699,666	2,806,805
固定資産合計	11,311,442	11,666,315
資産合計	24,817,740	25,665,867
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,764,417	4,401,241
短期借入金	790,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	62,500	—
未払法人税等	325,911	366,353
賞与引当金	53,828	101,034
その他	1,281,558	1,254,596
流動負債合計	6,278,216	6,623,226
固定負債		
役員退職慰労引当金	305,830	314,011
退職給付に係る負債	443,738	433,043
その他	300,571	308,560
固定負債合計	1,050,139	1,055,614
負債合計	7,328,356	7,678,841

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	719,530	719,530
資本剰余金	750,988	750,988
利益剰余金	15,869,643	16,395,350
自己株式	△57,982	△57,982
株主資本合計	17,282,179	17,807,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262,654	232,220
土地再評価差額金	△62,642	△62,642
その他の包括利益累計額合計	200,012	169,577
非支配株主持分	7,192	9,561
純資産合計	17,489,384	17,987,025
負債純資産合計	24,817,740	25,665,867

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	24,788,556	26,780,954
売上原価	21,656,099	23,477,418
売上総利益	3,132,457	3,303,535
販売費及び一般管理費	2,122,167	2,296,030
営業利益	1,010,289	1,007,505
営業外収益		
受取利息及び配当金	23,563	23,581
業務受託手数料	19,150	19,141
保険解約返戻金	16,647	35,260
その他	19,146	14,348
営業外収益合計	78,508	92,331
営業外費用		
支払利息	2,329	776
持分法による投資損失	6,395	1,858
営業外費用合計	8,724	2,635
経常利益	1,080,073	1,097,201
税金等調整前四半期純利益	1,080,073	1,097,201
法人税等	361,098	364,902
四半期純利益	718,975	732,299
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,777	2,369
親会社株主に帰属する四半期純利益	717,198	729,930

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	718,975	732,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,725	△30,434
その他の包括利益合計	△3,725	△30,434
四半期包括利益	715,249	701,864
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	713,472	699,495
非支配株主に係る四半期包括利益	1,777	2,369

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,080,073	1,097,201
減価償却費	275,217	260,954
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△58	△299
賞与引当金の増減額(△は減少)	57,290	47,206
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,245	8,181
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	17,434	△10,695
受取利息及び受取配当金	△23,563	△23,581
支払利息	2,329	776
持分法による投資損益(△は益)	6,395	1,858
売上債権の増減額(△は増加)	221,714	△372,874
たな卸資産の増減額(△は増加)	175,358	4,804
仕入債務の増減額(△は減少)	△673,095	636,823
前渡金の増減額(△は増加)	△83,006	75,453
未収入金の増減額(△は増加)	19,510	38,774
未払金の増減額(△は減少)	△92,616	90,912
未払消費税等の増減額(△は減少)	129,123	△115,638
その他	△81,390	△72,589
小計	1,038,963	1,667,269
利息及び配当金の受取額	28,528	23,586
利息の支払額	△2,327	△783
法人税等の支払額	△206,423	△303,713
営業活動によるキャッシュ・フロー	858,740	1,386,359
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△128,132	△128,133
定期預金の払戻による収入	128,131	128,132
有形固定資産の取得による支出	△210,134	△514,965
無形固定資産の取得による支出	△20,900	△8,688
投資有価証券の取得による支出	△3,049	△3,095
長期貸付けによる支出	△1,400	—
貸付金の回収による収入	36,234	24,323
保険積立金の積立による支出	△39,899	△42,806
保険積立金の解約による収入	32,008	71,830
差入保証金の差入による支出	△1,298	△131,888
差入保証金の回収による収入	—	321
投資活動によるキャッシュ・フロー	△208,440	△604,969
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	11,140,000	6,070,000
短期借入金の返済による支出	△10,660,000	△6,360,000
長期借入金の返済による支出	△200,000	△62,500
配当金の支払額	△198,773	△205,730
自己株式の取得による支出	△37	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	81,188	△558,230
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	731,488	223,159
現金及び現金同等物の期首残高	1,509,901	2,353,947
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,241,390	2,577,106

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。